

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

高すぎる国民健康保険料

国の財政支援で引き下げ可能に

全国知事会も1兆円の公費負担増を求めている

共産党は議会で繰り返し国保問題を取り上げてきました。高すぎて払えないのに毎年のように引き揚げている問題、払えない区民には差し押さえを容赦なくしている問題などです。保健証を取り上げ、病気になっても医療にかかれないのはおかしい！！

所得は低いのに国保料は高い

国民健康保険料はあまりにも高すぎて、払えない人を増やして続けています。年収400万円30代夫婦、子ども2人の場合、保険料は42万6千円。協会けんぽの同じケースの保険料は19万8千円。国保保険料が異常に高いことがわかります。

日本共産党は、協会健保並みに保険料の引き下げを求め続けています。

なぜこんなに高いのか

なぜこんなに高いのでしょうか。制度ができた当初、国保加入者は農林水産業や自営業が67.5%を占めていました。国は、低所得者が多いこと、保険料に事業主負担がないことなどで『国庫が負担する必要がある』と認め、国庫負担金を拠出してきました。ところが、1984年以降、

国庫負担を削減し続けています。現在の加入者割合は無職43.9%、非正規雇用34%となり高齢化や貧困化へ変化。医療にかかる割合が高くなるなど構造的な問題があるのに、国庫負担を削減し続けるために、保険料負担は増え続けざるをえないのです。

保険料が高い理由の2

国保の保険料が高い理由はもう一つあります。協会けんぽなどにはない「均等割り」という保険料算定があるからです。一般的な保険料算定は、収入に保険料率をかけて決まりますが、国保は、世帯人数に39歳以下の人では一人5万1千円をかけた「均等割り」が加算されるので、それが高額にさせています。先に紹介した4人家族の場合、5万1千円×4人、20万4千円が加算され負担額は42万6千円、年収10%を超える額になるのです。

この5万1千円は生まれたばかりの赤ちゃんにも適用されますので、少子化に逆行です。共産党はこの均等割りの廃止を求めています。

全国知事会、1兆円の財政支援を求める

過酷な「均等割」「平等割」として徴収されている保険料は、全国ではおおよそ1兆円。国が1兆円の財政支援をすれば協会けんぽ並みの保険料になります。

全国知事会は2014年以降、財政支援を国に求め続けています。共産党も11月1日に保険料引き下げを求め提案。先の区議会で、奥野晋治区議の質問に区は「区長会・全国市長会を通じて要望していく」と答弁。しかし一方で、苛酷な取立てや差し押さえを続けています。これも止めさせなければなりません。

コミュニティバスを区内全域で走らせて——南大井
地域の方が提出した請願は「継続」に

定例区議会で南が質問

9月の区長選挙で濱野区長が公約した「コミュニティバスの運行」は多くの区民を喜ばせました。しかし、運行計画は区内の一部にとどまることがわかりました。そこで、南はこの問題を10月の定例区議会で質問。区内全域で運行してほしいこと、区民の移動する権利を認めて保障することなどです。区は、来年度に検討会を立ち上げて決めると答弁。具体的な運行計画は明らかにされませんでした。

区民の陳情に議会は・・・

南大井の区民から「区内全域で走らせてほしい」という陳情が3定例会に、4定例会には請願が提出され、

視覚障害者も安心して歩ける八潮のまちに

12月11日、暮らしの問題を考える会の皆さんが、視覚障害者の願いを区に届けました。願いとは、八潮に住む視覚障害者の方から寄せられたもので、直接場所や訴え内容などを確認したものです。視覚障害者の方も区の部課長に説明しました。

内容は、八潮のバス通りに沿った歩道が拡幅されたことで、歩道と車道の段差が識別できなくなり、恐い思いをしながら買い物など外出をしているとのこと。どこをどう改善したらいいのか区に具体的に説明して理解を求めました。防災まちづくり部長と道路課長は、「要請内容を現地で確認し、対応方法を相談します」と対応。また、視覚障害者の具体的な説明に「大変参考になりました」とも発言。冷たい雨が降る中、区役所まで来た甲斐がありました。

それぞれ建設委員会で審議されました。各政党の意見を紹介します。自民党「なし崩し的に走らせたら、赤字になりそれを補うのは税金だ」公明党、国民民主とも「公共交通会議の議論を見守りたい」共産党「公共交通会議で検討するにも要

望の強い行き先などのアンケートを取るべきだ」「料金など区民参加を公募するべきだ」の検討する会議を設置し、など具体的な内容を求めました。

コミュニティバスを求める声は区内全域から出ています。2000年以降、毎年のように議会には請願や陳情が提出されています。

